



GOUNKAI
20th Anniversary

五蘊会 二十周年記念公演



頼朝の逸手を逃れ、にせ山伏に姿を変えた十二人の美經一行。

安定の間で、山伏一人たりとも通さぬと待ち構えら富樫とがしの何某なにがし。

細心の智略と豪胆、二つを一つにした弁慶の咄嗟の行動。

弁慶と富樫との緊迫の間答。

美經と弁慶に通う主従の情。

「鳴らば滝の水」と、弁慶の舞う男舞。

一陣の風が安定の間を吹きすさぶ。

能

A T A K A
「安宅」

友枝雄人

狂言

F U T A R I B A K A M A
「二人袴」

野村万蔵
野村萬

平成二十八年八月二十七日(土) 十四時開演 (十三時開場)

於十四世喜多六平太記念能楽堂 東京都品川区上大崎4-6-9

◎ チケット申し込み・お問い合わせ 〈受付時間 10:00～18:00〉

チケット販売開始日 2016年5月9日(月) 10:00～

● 喜多能楽堂事務局 03-3491-8813

● 友枝雄人事務局 03-5950-4543

ネットでのお申し込みは <http://tomoeda-kai.com>

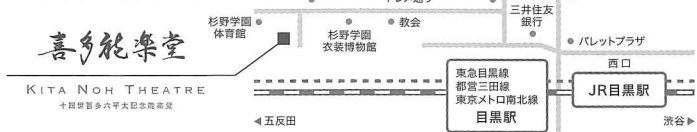
◎ 料金：

S席 10,000円 / A席 9,000円 / B席 7,000円

C席 6,000円 / 自由席 4,000円 〈学生 3,000円〉



公益財団法人 十四世六平太記念財団
十四世喜多六平太記念能楽堂



〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9 TEL:03-3491-8813 / FAX:03-3491-8999

JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分
目黒駅西口よりさくら情報システム裏手のドレメ通りを直進杉野学園体育館手前を左に入る

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。
※開演中の写真撮影及び録音は、固くお断り致します。※その他やむをえない事情で出演者が変更になる場合があります。

五 蘊 会 二 十 周 年 記 念 公 演



GOUNKAI
20th Anniversary

【日時】 平成二十八年八月二十七日(土) 十四時開演 (十三時開場)
【会場】 十四世喜多六平太記念能楽堂

二人袴

〔親〕 野村 万蔵

〔男〕 野村 萬
〔太朗冠者〕 能村 晶人
〔聲〕 野村 眞之介

休憩 20分

〔能〕

同 金子 敬一郎
同 友枝 雄太郎
同 狩野 祐一
同 谷 友矩
同 佐藤 寛泰
同 大島 輝久
同 佐々木 多門
同 内田 成信
ツレ(山伏) 狩野 了一
子方(源義経) 大島 伊織

安宅

シテ(武藏坊弁慶) 友枝 雄人

ワキ(富樫某) 宝生 欣哉
アイ(強力) 野村 万蔵
(太刀持) 野村 虎之介

後見 塩津 哲生
中村 邦生

大鼓 國川 純
小鼓 成田 達志
笛 一噌 隆之

地謡 佐藤 陽 大村 定
栗谷 浩之 香川 靖嗣
長島 茂 友枝 昭世
友枝 真也 栗谷 能夫

〈終了予定時刻 十六時三十分頃〉

「見どころ」
なぜ義経一行は安宅の関を通過できたのであろうか。関を守る富樫の何某は昨日も山伏を三人殺したという言語道断それならば最後の勤めを始めようと言って一行は修験の秘訣を唱え教珠を押し揉むと、気圧された富樫は、次に、貴公ら南都東大寺建立のための勧進を目的とする旅ならば、勧進帳を読めと要求する。勧進帳があらばこそ、弁慶は笈の中から適当な巻物を取り出し、その場の作文を読み上げる。しかし、それは天にも響き、関の人々の肝を消すような声であった。
強力が義経とそっくりだと指摘され、一期の浮沈極まりぬと思われたときの弁慶の行動はさらに果敢であった。實力突破に走ろうとする郎等を抑え、主の義経をのしり金剛杖で打擲した。そして、強力が笈に目をとめた富樫に、あなたは盗人か、と迫る。富樫をはじめ関の人々が一行を通したのは、その迫りに抗しがたかったからである。なおも富樫は先ほどの非礼を詫びかたがた酒をもって一行を追ってくる。弁慶が舞を舞っている最中も、いつ武力闘争になるか、全員気を許さない。関所を通過できたのは、男たちの唸りをあげるような力の結果のなしたことで、富樫の同情などではさらさらしない。